

(別紙)

成果の説明書

(氏名)	中村 匡克	(学部)	地域政策学部
1 重要事項			
(1) 研究成果			
・ 高崎経済大学産業研究所 (2015) 『デフレーションの経済と歴史』 日本経済評論社のうち、「第4章 財政再建に求められるデフレ脱却と新しい公共経営」を担当			
・ 中村匡克 (2015) 「規模に応じた市町村の役割分担の再検討—地方分権の議論と公共選択の視点—」 『公共選択』 第63号			
・ その他、紀要に6論文 (高崎経済大学論集：2, 地域政策研究：3, 産業研究：1)			
(2) 教務関連			
新カリキュラム運営小委員会の委員長として、新カリキュラムの運営に関連する各種問題の取りまとめを行った。特に、新規開講科目である「高崎市の課題と政策」では、講義をして頂く高崎市職員との調整など講義の運営に関する仕事をした。			
(3) 学会活動			
・ 日本計画行政学会学術賞選考委員会の幹事として、学術賞に関連する仕事を行ってきた。			
・ 日本地域政策学会編集委員会の副委員長として、機関紙『日本地域政策研究』の内容の改善を実現させた。			
2 その他の事項			
(1) 講義方法の改善			
・ 受講生には毎回の講義で質問・感想を用紙に記入してもらい、後の講義においてリプライレターとして配布した。			
・ ゼミにおける研究活動の成果をポスターにまとめ、オープンキャンパスの際に展示した。			
(2) 大学経営			
他大学に視察に行き、教育や地域貢献、大学の施設・設備について調査してきた。			
(3) 社会貢献			
・ ぐんま3R推進会議に委員として参加し、学術的な視点からコメントしてきた。			
・ 群馬県大規模小売店舗立地審議会の委員として、大規模小売店の新規開店等に関する申請について議論してきた。			
・ ぐんま環境学校 (エコカレッジ) にて、群馬県のごみ排出とリサイクルの現状ならびにその解決策について経済学の視点から講義した。			

3 次年度以降の計画・抱負

研究に関しては、これまで取り組んできた研究内容をより深め、とりまとめる活動を行っていくと同時に、地域政策の基礎理論となるような考え方の整理を進めていきたい。

講義に関しては、従来型の一方通行の講義スタイルからディスカッションを中心とした講義スタイルへの変更を図るとともに、学生からの質問・感想をリプライレターとして返す作業は引き続き行いたい。

2013, 14年度にわたっていくつかの大学へ視察に行ったので、その整理をするとともに、本学に適用できるものは活かせるように経営陣および事務局に働きかけたい。

地域貢献に関しては、地方創生との関連で、地方自治体の人口・財政に関する研究の支援に携わる予定である。